



田んぼから歓声

9/13 武蔵野の中学生が稲刈り体験

市の友好都市である東京都武蔵野市の第六中学校の生徒約100人が9月13日、豊科高家にある田んぼで稲刈り体験をしました。

この日の最高気温は29℃。生徒たちは、汗を拭いながら、地元農家などの指導を受けて、元気に稲を収穫しました。黄金色に輝く田んぼからは「カエル見つけた」「泥にはまっちゃった」など、にぎやかな歓声が響きました。同中学校は、以前から県内で農業体験を実施していて、安曇野での稲刈り体験は今回が初めてとなりました。



秘訣は夫婦円満

9/12 最高齢者お祝い品伝達

敬老の日の高齢者祝賀事業として平林市長が9月12日、市内の男性最高齢者の小林達郎さん(103歳)を訪問し、お祝い品を手渡しました。

市長が小林さんに長寿の秘けつを尋ねると、「まず夫婦円満であること。60年以上連れ添った妻とは、一度もケンカしたことがない」と答えていました。

このほか市では、本年度88歳を迎える男女368人と100歳を迎える男女17人にお祝い品を贈り、長寿を祝いました。

安曇野の今を体感・実感

9/29-30 安曇野フェスタ

今年で2回目の開催となる「安曇野フェスタ」が9月29日・30日の両日、国営公園あづみの公園で行われました。

今年は、安曇野の自然・文化・伝統などを体験し、安曇野の良さを実感する参加型イベントとして行われ、そば打ちやわさび漬づくり、ニジマスのつかみ取りなど、さまざまな体験プログラムが用意されました。また、メインステージでは、音楽やキッズダンスのイベントなどが行われ、家族連れなど多くの人でにぎわいました。このほか、地元の物産品の販売、地元企業の製品や技術を紹介するブースもあり、訪れた人は、安曇野の多様な魅力を体感・実感していました。



羽ばたけ 若い力

9月 三郷小学校合唱部の受賞など

安曇野の若者たちが全国・世界を舞台に活躍しています。

三郷小学校合唱部は、8月26日に第74回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部・長野県大会で金賞を受賞。9月8日の関東甲信越ブロックコンクールでは奨励賞を受賞するという快挙を成し遂げました。WingまつもとR.G.所属で堀金三田の猪又涼子さんは、9月22日から行われた北信越新体操ジュニア選手権大会B競技で優勝。その将来性の高さから注目を浴びています。また、市内在住の林喜美さんは、海外青年協力隊としてケニアへの赴任が決まり、9月18日に市へ報告に訪れました。林さんは現地でエイズ対策を講じるための活動を行います。



下水処理場を1日解放

9/1 アクアピア安曇野ふれあいデー

下水処理場を開放し、各種催しを行う2007アクアピア安曇野ふれあいデーが9月1日、アクアピア安曇野で開かれました。この日は、親子連れなど約1,600人が訪れ、処理場の見学ツアー、スタンプラリークイズ、フリーマーケットなどを楽しみました。汚水を処理するツリガネムシなど微生物の働きを案内した施設の職員は、「微生物は施設の一番大切な宝。普段見られない姿をぜひ見てほしい」と話しました。



想いをつなげた花のじゅうたん

9/2 2007アルプス花街道in安曇野

安曇野を訪れる皆さんを花で迎えようと活動するアルプス花街道実行委員会が「アルプス花街道in安曇野」を9月2日、スワンガーデン安曇野で開きました。

会場では、高校生による原画をもとに作成した畳約10畳分の花のじゅうたん画や参加団体を紹介したパネルの展示、シソジュースの試飲、花のじゅうたんの製作体験なども行われました。開会式で、実行委員会会長の等々力秀和さんは、「この取り組みが大きく広がっていて、みんなの努力が実ってきていることをとてもうれしく思います」とあいさつしました。